

六月二日 中國新聞記事

因島の有志郡役所訪問 爭議調停の陳情

三十一日午後四時御調郡役所に栗屋郡長を訪問し因島工場對戦工の勞力減半
議論調停方を陳情した木村市太郎氏は栗屋郡長がこれに對する意見と聽
取らるる上縣當局の訪問は後日に廻す事として一先づ土生町に引上げたを就
き栗屋郡長を訪うて陳情に對する意見を聞くと郡當局は終の實爭議に
對し調停者の立場として臨むべきか否かは大に考慮を要する問題であるとの
意味を一應陳情を聞いたに過ぎずと餘り多くを語らなかつた。

六月三日 大阪朝日新聞記事

因島爭議持久

大阪鐵工所因島工場の爭議は双方とも譲歩する模様なく會社側では入渠船
の修繕を急ぐものは及御事員を督勵し特別の待遇をして作務を急ぐ一方
臨時職工として契約中の約八百名に對して本月中旬に解決せねば解僱すべしと三
十日附で通知した一方爭議團でも持久戦を覚悟し一日から炊出しをなし會社側
と交渉を繼續してゐる因に臨時職工中には解決を見る迄他に口を求めてゐる
者もあるから爭議は目下のところ解決の見込は立たなくなつた。

六月四日 大阪毎日新聞記事

無條件で開門 因島三庄兩工場

大阪鐵工所因島工場及び三庄工場の勞働爭議は二週間に亘つて尚無解決であり
か四日午前七時頃二工場とも開門し爭議のため解雇職工を除く外無條件就業
者を入場せしむることを三日午後發表した會社側では職工中には反爭議團熱
があり無條件就業を申込み来る職工があるので此際開門すれば可なり多く
の入場者があるものと見込をつけてのことであるが一方爭議團ではこれ等裏
切職工に對して傍觀的態度はとらぬであらうから一大衝突を免れぬものと